

[普及事項]

成果情報名：県北部におけるモモ「さくら」の品種特性

研究機関名 果樹試験場 総務企画室（かづの果樹センター）

担当者 長崎仁甚・中村佐之・他4名

[要約]

モモ「さくら」は、収穫期が「川中島白桃」より14～24日遅い9月下旬の晩生種である。硬度、糖度が高く、酸味がほとんど感じられず、食味は良好であり、県北部において普及性がある。

[キーワード]

モモ・品種・果実品質・さくら

[普及対象範囲]

県北部モモ栽培地域

[ねらい]

県北部におけるモモのリレー出荷を可能にするため、主力品種の「川中島白桃」以降に収穫期を迎える品種について、果実品質等の特性を明らかにする。

[成果の内容及び特徴]

- 1 初期生態は「川中島白桃」より1～3日早く（表1）、花粉を有する。
- 2 果重は300～420gとやや大きい。着色は「川中島白桃」に比べ、やや薄い。糖度は13～15%と高く、酸味はほとんど感じない。果肉は硬めで、肉質は溶質で緻密である（表2）。
- 3 収穫時期は、「川中島白桃」より14～24日遅い9月下旬である（表2）。
- 4 核割れ果、みつ入り果の発生はほとんどみられない。また、「川中島白桃」に比べ、せん孔細菌病の発生がやや多い（データ省略）。
- 5 「さくら」の台木は、「富士野生桃」、「おはつもも」、「払子」、「ひだ国府紅しだれ」のいずれであっても、収穫期や果実品質に大きな違いは見られない（表3）。

[成果の活用上の留意点]

- 1 果面荒れの防止や着色の向上を図るため、有袋栽培が望ましい。
- 2 樹体には凍害が発生しやすいため、台木は発生リスクの低い「払子」もしくは「ひだ国府紅しだれ」などが望ましい（データ省略）。

[具体的なデータ等]



図1「さくら」の果実の外観①



図2「さくら」の果実の外観②

表1 初期生態 (H30-R2)

品 種	調査年	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	落花期
さくら	H30	4/10	5/2	4/30	5/3	—
	R1	4/10	5/3	5/1	5/4	5/14
	R2	4/1	5/6	5/4	5/7	5/13
	R3	4/1	4/27	4/25	5/3	5/9
	4力年平均	4/5	5/2	4/30	5/4	5/12
川中島 白桃	H30	4/12	5/3	5/1	5/5	5/16
	R1	4/11	5/5	5/3	5/7	5/17
	R2	3/30	5/6	5/4	5/7	5/16
	R3	4/3	4/27	4/26	5/6	5/14
	4力年平均	4/6	5/3	5/1	5/6	5/15

表2 年度別果実品質 (H30-R3)

品 種 ^z	調査年	収穫日 (盛期)	果重 (g)	着色 ^y	硬度 (kgf/cm ²)	糖度 (Brix%)	酸度 (pH)	みつ ^x
さくら	H30	9/25	355.2	2.7	2.73	13.0	5.12	0
	R1	9/25	416.1	1.8	2.45	14.6	4.72	0
	R2	10/1	298.9	2.3	2.30	15.2	4.93	0
	R3	9/21	386.1	2.2	2.37	14.4	5.21	0
	4力年平均	9/25	364.5	2.1	2.35	14.4	4.89	0
川中島 白桃	H30	9/11	331.1	2.9	1.99	11.3	4.71	0
	R1	9/11	373.3	2.8	2.23	12.6	4.49	0
	R2	9/7	372.2	3.0	2.26	13.8	4.66	0
	R3	9/6	329.6	3.0	2.28	12.1	4.42	0
	4力年平均	9/8	351.6	2.9	2.19	12.5	4.57	0

^z品種…「さくら」、「川中島白桃」とも台木は「富士野生桃」^y着色…指数で評価:着色多(3)～なし(0)^xみつ(みつ症の程度)…多(4)～なし(0)

表3 台木別果実品質 (R1-R3の3力年平均)

台 木 ^z	収穫日 (盛期)	果重 ^x (g)	着色 ^y	硬度 ^x (kgf/cm ²)	糖度 ^x (Brix%)	酸度 ^x (pH)
富士野生桃	9/25	367.0	2.1	2.37	14.7	4.95
おはつもも	9/24	304.9	2.2	2.36	15.1	4.94
払子	9/24	315.7	2.2	2.51	15.2	4.87
ひだ国府紅しだれ	9/24	320.4	2.4	2.51	15.5	5.93
有意性 ^x		ns		ns	ns	ns

^z台木…令和3年時点で、おはつもも台、払子台、ひだ国府紅しだれ台の「さくら」は6年生。富士野生桃台の「さくら」は11年生。^y着色…指数で評価:着色多(3)～なし(0)^xTukeyの多重比較検定により、果重、硬度、糖度、酸度のそれぞれで5%水準で有意差なし

[その他]

研究課題名: 園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適応する品種の選抜

研究期間: 令和3年度～令和12年度

予算区分: 県単

掲載誌等: なし